

第3次 中野区環境基本計画

平成28(2016)年度～平成37(2025)年度

概要版

平成28(2016)年3月
中野区

基本計画改定の背景

平成 23(2011)年 3 月 11 日の東日本大震災と原子力発電所事故、これに伴う東京電力管内の全原子力発電所の停止による電力の CO₂ 排出係数の増加など、平成 20(2008)年に改定した当初とは大きく変動している状況を踏まえるとともに、上位計画である「新しい中野をつくる 10 か年計画」の改定時期と重なることから、平成 28(2016)年 3 月に「第 3 次中野区環境基本計画」を策定しました。

改定に当たっての考え方

- 地球温暖化対策を中心にします
- 重点的に取り組むテーマを明確にします
- 区民・事業者・区が連携して取り組みます
- 指標や数値目標を定め、進行管理を行います

計画期間



めざす将来像

将来像

環境負荷の少ない低炭素社会

10 年後に実現するまちの姿

- 地球環境にやさしいライフスタイルが、あらゆる世代の日常生活の中に幅広く根づいています。
- エネルギーの面的管理、建築物の低炭素化、再生可能エネルギーの利用等により、低炭素なまちづくりが進んでいます。
- 温暖化に伴う気候変動による様々な影響に対して、適応が進んでいます。
- 区民、事業者、区、それぞれが役割を果たすことにより、ごみ発生抑制、資源化の取組が進み、環境負荷が低減するとともに、ごみの大幅な減量が実現しています。
- 建替えなどに伴う緑化のほか様々な工夫により、暮らしの中に息づくみどりが増えています。

削減目標

エネルギー消費量※	平成 32(2020)年度	: 10,289 T ^{テラ} J	(574TJ 削減、△ 5.3%)
	平成 37(2025)年度	: 9,209 TJ	(1,654TJ 削減、△15.2%)
		(平成 24(2012)年度実績(10,863TJ)比)	※ 1TJ=1 兆 J(10 ¹² J)

<参考指標 (CO₂排出量) >

平成 32 (2020) 年度 : 100.6 万 t (5.6 万 t 削減、△ 5.3%)

平成 37 (2025) 年度 : 90.1 万 t (16.1 万 t 削減、△15.2%) (平成 24 (2012) 年度実績 (106.2 万 t) 比)

※ エネルギー消費量とは、購入電力、都市ガス、灯油、ガソリン、LPG 等の各エネルギー消費量に、それぞれのエネルギー源に対応する熱量換算係数を乗じて算出された量 [単位:J(ジュール)]

① 低炭素なまちづくりプロジェクト

～ 環境とにぎわいの調和した都市施設等の整備が進んでいるまち ～

区民、事業者及び区の連携・協働により、環境とまちのにぎわいが調和し、再生可能エネルギーの導入など、環境負荷の少ない、真に豊かで持続可能な活力ある低炭素なまちづくりを進め、次世代に引き継ぎます。

①-1 低炭素まちづくりの推進

中野のまちの低炭素化に向けた取組を推進します。主に中野駅周辺の大規模な都市再生プロジェクト、区内各所における地域まちづくりや西武新宿線沿線まちづくりなどにおいて、CO₂削減や吸収を進めるため、様々な取組を行います。また、水素エネルギーの活用や区内緑化についての取組も進めます。

①-2 大規模公園の整備

みどりのネットワークの拠点となるとともに、生活空間の安全性・快適性を高めるため大規模公園を整備します。

①-3 公共交通の利用促進

CO₂排出量削減のため、過度な自動車利用を抑える気持ちを育みます。また、楽しく歩き、自転車が利用しやすいまちをつくり、利用しやすい交通体系を交通事業者、道路管理者、交通管理者などの関係事業者と連携して整備するなどして、公共交通機関の利便性を向上させます。

①-4 建物の断熱化促進

建物の断熱化を促進し、冷暖房効率が上がることでエネルギー消費量を削減できます。また、一定の基準を満たした建物は「高断熱建築物」として認証します。

② 地球環境にやさしい快適なライフスタイルプロジェクト

～ 環境への配慮と健康で快適な生活の両立が進んでいるまち ～

少ない資源・エネルギーでも健康で快適に暮らせる情報・技術・知恵が共有され、我慢するのではなく楽しみながら実践することにより、再生可能エネルギーを活用した、省エネかつ資源循環型のライフスタイルを日常生活や事業活動に根づかせます。

②-1 なかのエコポイントCO₂削減コースの参加促進

家庭における節電や省エネの取組を実践した結果に応じてポイントがもらえるCO₂削減コースについて、スマートフォン等による参加登録などの手続きの利便性向上や、参加者同士の情報交換など情報共有が可能となるシステムを導入し、参加登録世帯数を増やすことで、家庭におけるCO₂排出量の削減を促進します。

②-2 なかのエコポイント環境商品コースへの小中学校PTA等の参加促進

エコマーク付きの商品を購入し、エコマークを集めた場合にポイントがもらえる環境商品コースについて、小中学校PTA等への参加を呼びかけ、広く環境に配慮した商品の購入を促進します。

②-3 なかのエコポイントを活用したHEMS(家庭のエネルギー管理システム)の導入促進

地域ネットワーク化による地域のエネルギーの見える化と地域でのエネルギーの最適化に向けた、一戸建や集合住宅へのHEMS(家庭のエネルギー管理システム)の導入促進策として、なかのエコポイントを活用します。

②-4 環境学習教材「なかのエコチャレンジ(家庭版)」の小中学校での活用促進

省エネルギーの取組項目などを紹介した環境学習教材「なかのエコチャレンジ(家庭版)」を作成し、教材中の「なかのエコチャレンジシート」による省エネチェックを小中学校の授業や家庭学習に活用してもらい、子どもを通して家庭における省エネ行動を促進します。

②-5 家庭向け省エネ診断の推進

家庭を対象とした省エネ診断を東京都と連携して推進し、省エネ行動を促進します。

②-6 事業者向け省エネセミナーや省エネ診断の実施

区内産業団体や東京都と連携して、中小企業者等を対象に省エネセミナーや省エネ診断を実施し、省エネへの理解・関心を高めるとともに、事業者の省エネ機器等への買い替え、BEMS(ビルエネルギー管理システム)導入によるエネルギー管理などにより、エネルギー消費やコストの削減を促進します。

②-7 再生可能エネルギー利用設備・省エネ機器の情報提供

環境関連のイベントの機会や区ホームページ、なかのエコポイント参加登録者への情報発信などを通じて、再生可能エネルギー利用設備・省エネ機器の導入・買い替え促進や国・東京都の支援制度などの情報提供を進めます。

②-8 環境イベントの開催による環境配慮行動の推進

なかのエコフェア、環境月間や省エネルギー一月間のパネル展、夏休み子どもエコ講座、地球温暖化防止講座などを開催し、環境に配慮した行動を推進します。また、こうした環境イベントにおいて、なかのエコポイントへの参加申込を呼び掛けて、促進します。

②-9 みどりのカーテン・屋上緑化などによる環境教育の推進

今後も継続して緑化活動を続け、環境教育を推進していきます。

②-10 中野区地域環境アドバイザーの養成と派遣

地域における環境保全活動や地球温暖化防止活動を支援している中野区地域環境アドバイザーを更に養成し、学校や町会・自治会などで行う環境講座や学習会などに派遣します。

②-11 エコドライブなどの普及促進

電気自動車、燃料電池自動車などのクリーンエネルギー自動車や一定の燃費基準や排出ガス基準を満たしたハイブリッド自動車やガソリン自動車等の超低公害車の普及を促進します。

また、ゆるやかなスタートやアイドリングストップなど、エコドライブを推進します。

②-12 連携都市とのカーボン・オフセットの推進

森林資源を保有するなかの里・まち連携自治体と連携して、現地の森林整備(植林・間伐支援)を行う「中野の森プロジェクト」等の活動で得られるCO₂の吸収量を活用し、カーボン・オフセットを進め、環境配慮行動を促進します。あわせて、「中野区環境基金」への寄付を通じた「中野の森プロジェクト」等への参加など、環境交流の取組を進めます。

②-13 ペットボトル破砕回収機による回収の促進

ペットボトルを効率的に回収する破砕回収機による回収を推進し、運搬車の削減に繋がります。回収においてはポイント制度を導入し、区民のCO₂削減や資源化意識を高めます。

②-14 プラスチック製容器包装回収の促進

プラスチック製容器包装をごみ集積所で分別回収し、中間処理場で選別・梱包・保管後、再資源化します。

②-15 区の入札制度における環境マネジメントシステム導入事業者の評価加点

環境マネジメントシステムを導入した事業者には、総合評価方式による区の入札制度において加点します。



③ みどりを守り育てる都市緑化プロジェクト

～ 都市の暮らしの中で身近な緑化が進んでいるまち ～

身近なみどりを育て、都市の暮らしの中で、うらおいとやすらぎを感じられる住環境を確保します。

③-1 建築時などの緑化推進

一戸建て、マンション等の新築、建て替え時の緑化計画認定時に、良質なみどりが創出される適正な計画となるよう相談・指導を行います。特に接道部については、助成制度で支援します。

③-2 緑化の普及啓発

中野区花と緑の祭典の開催や苗木の配布のほか、みどりの教室などで植木の育成方法を教えるなど区民の緑化の啓発を図ります。また、緑化に関する助成制度の紹介など区民への情報提供の充実を図ります。

③-3 みどり保護育成のための寄付コース新設

身近なみどりへの意識を高めるため、「中野区環境基金」への寄付に、区内のみどり保護育成のための寄付コースを新設し、緑化意識の啓発を図ります。



④ 大規模事業者としての区の環境配慮率先行動プロジェクト

～ 率先して環境に配慮した取組を進めるモデル事業者 ～

区内の大規模事業者である区は、環境マネジメントシステムの着実な運用などによる徹底した省エネや、再生可能エネルギー利用等の取組により、「率先して環境に配慮した取組を進めるモデル事業者」として、エネルギーの効率的な利用に取り組めます。

④-1 CO₂排出量の少ない再生可能エネルギーを活用した電力利用の推進

電力システム改革にあわせて、CO₂排出量が少ない再生可能エネルギーを活用した、かつ安価で安定した電力の利用施設を拡大し、CO₂排出量の削減を図ります。

④-2 区有施設の省エネ化の推進

エネルギー管理の技術・ノウハウを保有している民間事業者を積極的に活用し、区有施設の大規模な設備改修時(省エネルギー検証を含む)に省エネ化を実施します。

④-3 照明機器の更新にあわせたLED照明導入の促進

大規模改修実施施設以外については、照明器具の更新工事にあわせてLED照明の導入を促進し、電力使用量の削減を推進します。

④-4 区有施設への再生可能エネルギー設備導入の促進

区有施設(小中学校含む)の新築・改築工事にあわせて太陽光発電設備・太陽熱利用設備の設置を推進し、再生可能エネルギーの活用を図ります。

④ー5 環境マネジメントシステムの運用等

平成23年度から全ての区有施設で運用を行っている環境マネジメントシステムについて、環境パフォーマンスの評価・分析を重視するものに改善し、区有施設における環境負荷を一層低減します。

また、職員一人ひとりの生活においても、環境に配慮した行動を促していきます。

④ー6 庁有車の燃料使用量の抑制

庁有車の燃料使用量を抑制し、前年度以下に削減します。

④ー7 庁有車のクリーンエネルギー自動車及び超低公害車への代替

庁有車のクリーンエネルギー自動車及び超低公害車への代替を推進します。あわせて、庁有車保有分野へも代替を推進します。



◎ <適応策>温暖化に伴う気候変動への適応

①から④のプロジェクトにおける各アクションプログラムを実施することにより、エネルギー消費量やCO₂排出量を削減するための緩和策だけでなく、既に現れている、もしくは今後中長期的に避けられない温暖化に伴う気候変動による様々な影響に対処するため、適応策を計画的に進める必要があります。

(1) 水害対策の推進

地球温暖化やヒートアイランド現象に起因すると言われており、局地的豪雨等による水害を予防するために、河川の改修や下水路の整備などを東京都等と連携して推進します。また、公園整備や道路の全面舗装改良に合わせて、公園や道路に地下貯留・浸透施設を設置します。

(2) 高齢者の熱中症対策事業

熱中症予防の普及啓発や、夏季における猛暑時の避難場所(高齢者会館、高齢者施設等)の設置などを行うことで、高齢者自身が熱中症にならないように健康管理を行えるようにします。

(3) デング熱対策等に向けた周知活動の推進

デング熱ウイルス等を媒介する蚊の発生を防ぐために、自主防除のための普及啓発を推進します。また、各区有施設所管分野において、蚊の発生対策を行います。



スローガン

スマートエコシティなかの

体系図

将来像

プロジェクト

アクションプログラム

環境負荷の少ない低炭素社会

①
低炭素なまちづくり
プロジェクト

- ①-1 低炭素まちづくりの推進
- ①-2 大規模公園の整備
- ①-3 公共交通の利用促進
- ①-4 建物の断熱化促進

②
地球環境に
やさしい快適な
ライフスタイル
プロジェクト

- ②-1 なかのエコポイント CO₂削減コースの参加促進
- ②-2 なかのエコポイント環境商品コースへの小中学校 PTA 等の参加促進
- ②-3 なかのエコポイントを活用した HEMS(家庭のエネルギー管理システム)の導入促進
- ②-4 環境学習教材「なかのエコチャレンジ(家庭版)」の小中学校での活用促進
- ②-5 家庭向け省エネ診断の推進
- ②-6 事業者向け省エネセミナーや省エネ診断の実施
- ②-7 再生可能エネルギー利用設備・省エネ機器の情報提供
- ②-8 環境イベントの開催による環境配慮行動の推進
- ②-9 みどりのカーテン・屋上緑化などによる環境教育の推進
- ②-10 中野区地域環境アドバイザーの養成と派遣
- ②-11 エコドライブなどの普及促進
- ②-12 連携都市とのカーボン・オフセットの推進
- ②-13 ペットボトル破砕回収機による回収の促進
- ②-14 プラスチック製容器包装回収の促進
- ②-15 区の入札制度における環境マネジメントシステム導入事業者の評価加点

③
みどりを守り
育てる都市緑化
プロジェクト

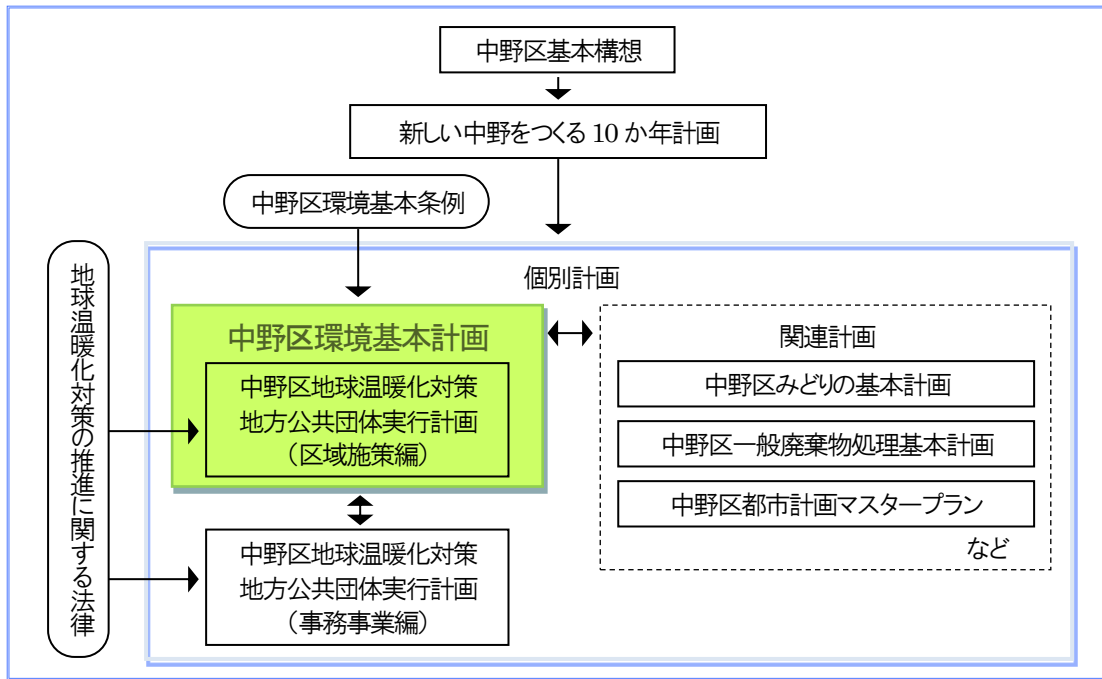
- ③-1 建築時などの緑化推進
- ③-2 緑化の普及啓発
- ③-3 みどり保護育成のための寄付コース新設

④
大規模事業者
としての区の
環境配慮率先行動
プロジェクト

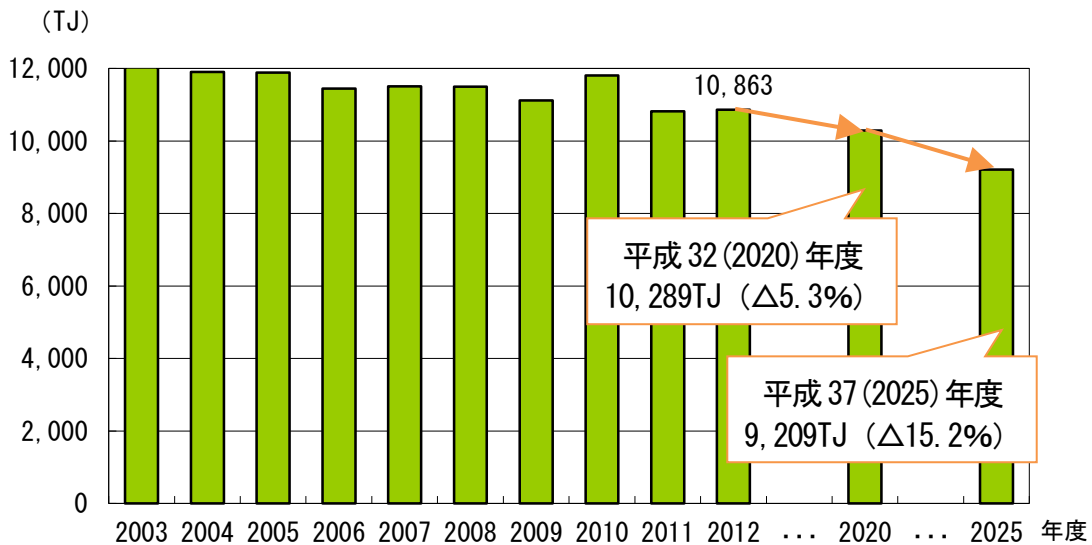
- ④-1 CO₂排出量の少ない再生可能エネルギーを活用した電力利用の推進
- ④-2 区有施設の省エネ化の推進
- ④-3 照明機器の更新にあわせた LED 照明導入の促進
- ④-4 区有施設への再生可能エネルギー設備導入の促進
- ④-5 環境マネジメントシステムの運用等
- ④-6 庁有車の燃料使用量の抑制
- ④-7 庁有車のクリーンエネルギー自動車及び超低公害車への代替

◎
<適応策>
温暖化に伴う
気候変動への適応

- (1) 水害対策の推進
- (2) 高齢者の熱中症対策事業
- (3) デング熱対策等に向けた周知活動の推進



<参考> 中野区のエネルギー消費量の推移及び削減目標



(出典)東京都提供資料より作成



中野区は、福島県喜多方市の「喜多方市森林整備加速化プロジェクト」の取り組みと連携し、喜多方市で間伐した森林のCO₂吸収価値を50トン分購入しました。その一部を活用して、「第3次中野区環境基本計画」の冊子印刷で排出されるCO₂を埋め合わせる「カーボン・オフセット」を行ない、地球温暖化防止に貢献しています。

CO₂排出量 1トン

CO₂埋め合わせ量 1トン

第3次中野区環境基本計画(概要版)

平成 28(2016)年 3月発行
 中野区 環境部地球温暖化対策分野
 〒164-8501 東京都中野区中野 4-8-1 電話 03-3228-6584(直通)
 中野区ホームページ <http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/>

